

企業誘致に不可欠な空港津山道路の早期整備は

★緑風会 津本憲一



質問 ↓ 企業誘致に不可欠なインフラ整備である空港津山道路の早期整備が必要と考えるが、現況はどのようにな

いるのか。

答弁 ↓ 早期に空港津山道路の全線整備が図られるよう、本市と沿線の商工会議所や市町の官民が一体となって国に対して積極的な要望活動を行っており、今秋も行う。

質問 ↓ 津山市議会議員の中に津山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を破り、罰金50万円の刑事罰を受けた者がいる噂がある現状、市長、津山市議会に議員倫理規定の必要性をどのように考えるのか。

答弁 ↓ 議会の主体的な判断に委ねたいと思う。

まちづくりについて

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓ 駅前再整備と環境省委託事業との関連は。ソーラー商店街の内容は。まちなかシネマ実証実験の進捗状況は。
答弁 ↓ 駅前整備は、省エネや再生可能工

ネルギー導入を設計段階から積極的に検討することで二酸化炭素排出量抑制に取り組む。ソーラー商店街の現時点での構想では、アルネ・津山の屋上部と周辺商店街のアーケードにパネルを敷設。仕組みは計画策定の中で検討するが、市民ファンドによる資金を財源として売電による収益を例えば、地域振興券などで還元することも考えられる。まちなかシネマ実証実験の状況は、8月10日にスタートして4本の映画を28回上映し、1300人以上が来場した。シネマパスポートは約500部発行。さらなる集客を図っていく。

太陽光発電用に施設屋根リリース

★新風会 森岡和雄



質問 ↓ 市の遊休地や公共施設の屋根を太陽光発電用にリリースして増収を図るべきでは。財政がひっ迫しているのに市はなぜ積極的に取り組まないのか。

答弁 ↓ 市としては、発電事業はあくまで民間の経済活動の中で行われるべきものと判断している。取り組みとしては指針やガイドラインに基づき、市有施設の改修時などで太陽光パネルの設置を積極的に検討する。屋根貸しに関しては、市民との協働による仕組みづくりを進めており、事業実施箇所決定状況に応じて必要な手続きを急ぎたい。仕組みづくりの構想には、再生可能エネルギーの導入による低炭素都市の形成などを目的とした市民ファンドを活用するものであり、市民の環境に対する意識を高め、津山の振興や活性化に結び付けたい。

土地開発公社の解散への道筋に疑問あり

★日本共産党津山市議団 末永弘之



質問 ↓ 113億円の「負債整理」を行い、土地開発公社の解散を行うことは当然の措置と思うが、その整理を税金という名によって、全額市民が負担する

というのは間違っている。過去の為政者へ責任を求めるべきではないか。

答弁 ↓ いわゆる首長の裁量権に属している課題であり、責任を求めるだけの法的な根拠が見いだせない。

質問 ↓ 求めないと決めているから、そのようになるのであって、『求めなくてはいけない』という立場をしっかりと取れば、責任を求められる根拠を見いだせるはずだ。

答弁 ↓ 仮に求めたとしても訴訟などに持ち込まれ、津山市の側が「負ける」ということが明らかであり、ご理解をいただきたい。